

普及活動情勢報告（令和5年2月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

これからのナバナどうする？ ～ナバナ積雪被害対応～



ナバナ積雪被害の様子

12月中旬から1月にかけて積雪により葉が折れたり、蕾が変色したりする被害が多く発生しました。そこで、1月30日、2月2日、大正・十和地域のナバナ農家を巡回し、今後の管理について指導しました。被害を受けた生産者からは、「蕾が黒くなって出荷ができない」や「被害を受ける前のように戻るだろうか」など心配の声が多くありました。

2月以降になれば草勢の回復が見込まれると思われるので、3月の最盛期に向け追肥が遅れないように指導を行いました。

普及所は今後も、JAと協力しナバナの生産振興を支援していきます。

会計決算処理のレベルアップを！ ～集落営農法人会計決算処理支援～



決算処理の様子

2月8日、JA四万十営農経済センターで集落営農法人を対象とした会計決算処理研修会を実施し、4法人組織が参加しました。

普及所はJA職員とともに、記帳状況の確認や、決算整理の個別指導しました。

参加者からは従事分量配当の金額、農業経営基盤強化準備金や減価償却の仕訳についての質問が特に多く、説明を受けながら入力をしていました。

普及所は今後も、集落営農組織が自ら会計処理ができるように、JA、役場など関係機関と連携して支援していきます。

重点指導農業者への経営改善の伴走支援 ～経営サポートチーム面談～



面談の様子

1月27、30日、高南普及所会議室他で重点指導農業者3名に対し、農業会議、専門家、JA、普及所他で構成する経営サポートチームがそれぞれの経営課題について面談しました。

普及所はJAと連携して、事前に対象者の経営状況や相談内容の把握を行い、当日は農業会議、専門家から相談内容に対する情報提供と助言がされました。

対象者からは現状の労務管理について感じていることや将来の規模拡大に対応すべき課題など意見が出されました。

普及所は、今後も関係機関と連携し重点指導農業者の経営改善に向け支援していきます。